

がん薬物療法治療レジメン登録票（申請書）

がん腫	胃癌	■進行・再発		レジメン名	SP + Trasutuzumab療法		
		■術後補助化学療法					
		■術前補助化学療法					
		□その他（					
1 コースの期間（次コースまでの日数）				21 日			
投与順	抗がん剤名 前投薬名	1 日投与量 (/m ² /kg/body)	投与経路	溶解液	投与時間	投与日（d1.d8など）	
1	生理食塩液(ルート用)	50mL	点滴静注			day1	
2	YDリタ-T3号輸液	500mL	点滴静注		90分	day1	
3	トラスツマブ注射用	初回：8mg/kg (2コース目以降：6mg/kg)	点滴静注		90分	day1	
4	パロリチン静注 デキメタゾン注射液	0.75mg 9.9mg	点滴静注	生食50ml	30分	day1	
5-①	生理食塩液	500mL	点滴静注		2 時間	day1	
5-②	シプロリン注	60mg/m ²	点滴静注	生食500ml	2 時間	day1	
6	YDリタ-T3号輸液	500mL	点滴静注		90分	day1	
7	YDリタ-T3号輸液	500mL	点滴静注		90分	day1	
8	パロリチン注	10mg	静注			day1	
9	生食	20mL	静注			day1	
経口	テガフルー ギメラシル オテラシ	1.25m ² 未満：80mg 1.25～1.5m ² ：100mg 1.5m ² 以上：120mg	経口		朝・夕食後	day1-14	
経口	アプロピタントカプセル	初日：125mg 2、3日目：80mg	経口		初日：シプロリン投 与1時間前 2,3日目：朝食後	day1-3	
経口	デキメタゾン	2mg	経口		朝・昼食後	day2-3	

投与基準	PS0-2、好中球数> 1500/μL、Hb> 9.0g/dL、血小板> 100,000/μL、Ccr> 60mL/min、	
休薬・減量・再開の目安	■有 □無	TS-1を一段階減量(Grade4の血液毒性 or Grade3以上の発熱性好中球減少症 or Grade3以上の非血液学的毒性 or Ccr 40-60mL/min)。CDDPを50%減量(Grade4の血液毒性 or Grade3以上の発熱性好中球減少症 or Grade3以上の非血液学的毒性 or Ccr 40-60mL/min)。
プレ・ホストメディケーション	■有 □無	アプロピタントカプセル、デキメタゾン